

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	長野 丸山
	全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3254
事務事業名	14626 小規模水道施設維持管理事業											
所 属	121000 市民環境部・生活環境課											
施 策	06023200 水環境の保全と水道水の安定的な供給											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	040301 衛生費・水道費・水道費										
	事業	010000 小規模水道施設維持管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
峰の原地区の住民に安心して安定的な水を供給する。						峰の原地区の住民に安心して安定的な水を供給するために、適切な維持管理を行う。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
平成29年度 実績	平成30年度 実績
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
4月1日より、「須坂市峰の原高原飲料水供給施設」として、市営化による水道事業の運営スタート。	区域内住民へ安全安心な水の安定給水の維持確保に努める。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		4,257	6,254
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,547	6,254
一般財源		2,710	0
人員数(人)	正規職員	0.8	0.8
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,812.0	5,812.0
	嘱託職員	848.7	848.7
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,660.7	6,660.7
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		10,917.7	12,914.7

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,227	消耗品費116、燃料費30、電気料864、修繕料217
13節 委託費	2,813	施設管理委託料2,503、水質検査委託料310
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	217	郵便料43、電話料28、手数料8、借上料(共架料)23、システム使用料(残塩計)115

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	3,206	消耗品費470、燃料費36、電気料1,500、修繕料1,200
12節 委託費	685	施設管理委託料333、水質検査委託料315、量水器取付委託料37
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2,019	水道局負担金（分水の水道料、二ツ双水源ポンプ電気料）
その他	344	郵便料75、電話料12、手数料36、借上料（共架料）23、システム使用料（残塩計）198

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	安全安心な水道水の安定給水に努める。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	工事期間中については、隣接する須坂市峰の原水道から分水による水の提供を受け、仮配管による水の供給を実施。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	水道施設の維持管理業務について、事業者への年間業務委託を中止し、新設備への更新にあたり、新たに残留塩素濃度計測装置と広域監視システムの導入により、数値等異常が確認された際に原因事案ごとに関係事業者へ依頼して対応する方式に変更した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

原水・浄水の水質検査、給水末端での残留塩素濃度測定等、施設の適正な維持管理を行い、安心安全な水の安定供給を図った。
水道料金の収納率は100%となった。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

施設の適正な維持管理を行い、峰の原地区の住民に安心で安全な水の供給をしていく必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

エリア内の住民に安全で安心な水の供給を図るため、施設の適正な維持管理を行う。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--